

## 拠出金名:世界アンチ・ドーピング機構拠出金

国際機関等名	世界アンチ・ドーピング機構 (英文名称・略称) World Anti-Doping Agency (WADA)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	Ⓔその他		
所轄官庁担当局課名	文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成17年度	166,811	1,503		1\$ = 111円	(2005年) 17.68	0
平成16年度	165,308	1,503		1\$ = 122円	(2004年) 17.68	0
平成15年度	183,342	1,503		1\$ = 122円	(2003年) 17.68	0
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財源 (2005年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 22,261,997ドル		
1位	ヨーロッパ地域		47.5	当該年度の支出 18,528,642ドル		
2位	アメリカ地域		29	次年度への繰越 3,614,158ドル		
3位	アジア地域		20.5	会計検査機関名		
4位	オセアニア地域		2.5	PRICE WATERHOUSE COOPERS		
5位	アフリカ地域		0.5	(現在の構成員の出身国:スイス)		
上記の率及び順位は2005年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>世界各国におけるドーピングの根絶と公正なアンチ・ドーピング活動の促進を目的として「世界アンチ・ドーピング機構(WADA)」が設立され、我が国はアジア地域を代表する理事国及び常任理事国に就任している。我が国は、WADAと連携し、アンチ・ドーピング活動に積極的に取り組むことを「スポーツ振興基本計画(文部科学省策定)」における「国際競技力の総合的な向上を図るために必要な施策」の一つとして位置付けている。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>WADAのアジア・オセアニア地域オフィスが東京に設立され、我が国はアジア・オセアニア地域における各国政府及びスポーツ団体(国内オリンピック委員会、スポーツ連盟等)等との連携・協力を図り、同地域内はもとより、国際的にもアンチ・ドーピング活動をより一層推進することとしている。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 1 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		46 人 4 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
所長(Director)		林 和弘		文部科学省		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
<p>2003年11月、アジア・オセアニア地域オフィスが東京に設立され、所長及びアシスタント(邦人職員)が公募・面接により任命されているところである。今後、職員の増員を検討することとしている。</p>						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。